

シオノギグループでは、従業員の健康づくりを推進する活動に取り組んできましたが、そうした活動がひいては健康な社会作りにも寄与できるものと考えています。

その一環として、2018年7月に健康増進法の一部を改正する法律が成立し、望まない受動喫煙を防止するための取り組みが、「マナー」から「ルール」へと変わったことを重視し、より一層の喫煙対策を推進する必要があると判断しました。

つきましては、2009年に発行した社内禁煙に関する声明文から10年以上経過していることも踏まえて、あらためて「シオノギグループ『絶』煙宣言」を発出します。今後、この宣言に基づいて、シオノギグループの従業員やご家族の方々はもとより、シオノギに関係するすべての人々を能動喫煙及び受動喫煙による健康被害から守るために、「喫煙率ゼロ」を目指し、組織的な喫煙対策に取り組んでいきます。

シオノギグループ『絶』煙宣言

シオノギグループをあげて、「絶対に」タバコの煙の影響を受けない職場・家庭・社会環境を実現するという強い決意をこめ、2024年までにシオノギグループ従業員の「喫煙率ゼロ」を達成することを宣言します。

従業員が健康であるためには、より良い職場環境や風土、社内制度および家庭環境が重要であると考えています。その中で、タバコによる健康被害のない環境の実現は、グループが一丸となって取り組まなければならない重要な課題であり、健康的な社会環境づくりにも貢献する取り組みです。

今後もシオノギグループでは、全ての従業員に「健康面でなんの不安もなく、能力を十分に活かして仕事をし、ご家族と共にプライベートも充実している」状態であってほしいと願い、健康経営を推進していきます。まずはファミリー一丸となって絶煙を推進していきましょう。

塩野義製薬株式会社

代表取締役社長

手代木 功